



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 エレマテック株式会社
 コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月29日

(氏名) 加藤 潤
 (氏名) 磯上 篤生

TEL 03-3454-3526

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|---------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 176,178 | 30.5 | 5,759 | 0.6 | 5,956 | 5.3 | 4,341 | 2.0 |
| 27年3月期第3四半期 | 135,023 | 24.5 | 5,727 | 39.5 | 5,654 | 29.1 | 4,257 | 41.1 |

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 3,616百万円 (△36.8%) 27年3月期第3四半期 5,721百万円 (36.1%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 212.07 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 207.94 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 102,486 | 44,787 | 43.7 | 2,187.60 |
| 27年3月期 | 84,191 | 42,910 | 51.0 | 2,095.95 |

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 44,787百万円 27年3月期 42,910百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 30.00 | — | 45.00 | 75.00 |
| 28年3月期 | — | 40.00 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 48.00 | 88.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|-------|-----|-------|------|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 240,000 | 32.0 | 8,100 | 9.8 | 8,250 | 16.6 | 6,000 | 17.5 | 293.07 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期3Q | 21,152,473 株 | 27年3月期 | 21,152,473 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 679,238 株 | 27年3月期 | 679,238 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期3Q | 20,473,235 株 | 27年3月期3Q | 20,473,275 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |
| 4. 補足情報 | 10 |
| 海外売上高 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府及び日銀による経済・金融政策を背景に、企業収益や雇用情勢が改善し、緩やかな回復基調が続いてきたものの、中国経済の減速をはじめとした海外景気の下振れリスクにより、依然先行きは不透明な状況となっております。

エレクトロニクス業界におきましては、昨春に買い替え特需が起きたパソコンの販売は低調に推移しましたが、冷蔵庫、洗濯機やエアコン等の白物家電の販売は、比較的堅調に推移しました。また、電子部品等の生産も、スマートフォン等情報機器端末の需要に支えられ、堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、スマートフォン向けデバイス及びディスプレイ関連部材に注力した販売活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比30.5%増の1,761億78百万円となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い売上総利益が増加し、営業利益は、前年同期比0.6%増の57億59百万円となりました。

経常利益は、営業利益が増加したことから、前年同期比5.3%増の59億56百万円となりました。

税金等調整前四半期純利益は、経常利益が増加したことから、前年同期比5.1%増の59億56百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比2.0%増の43億41百万円となりました。

当社グループの報告セグメントを基にした、当第3四半期連結累計期間における地域別販売状況の概要は、以下のとおりであります。

(日本)

売上高は、スマートフォン向けデバイス及びディスプレイ関連部材の販売が増加したことから、前年同期比2.8%増の679億55百万円となりました。営業利益は、前年同期比17.2%減の18億95百万円となりました。

(中国)

売上高は、スマートフォン向けデバイス及びディスプレイ関連部材の販売が増加したことから、前年同期比90.0%増の823億15百万円となりました。営業利益は、前年同期比48.6%増の30億82百万円となりました。

(その他アジア)

売上高は、テレビ向けディスプレイ関連部材の販売が減少したことから、前年同期比3.0%減の214億56百万円となりました。営業利益は、前年同期比9.4%増の5億45百万円となりました。

(欧米)

売上高は、自動車向け各種関連部材の販売が増加したことから、前年同期比27.1%増の44億51百万円となりました。営業利益は、前年同期比27.1%増の1億88百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、「現金及び預金」及び「受取手形及び売掛金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比21.7%増の1,024億86百万円となりました。

負債は、「支払手形及び買掛金」及び「短期借入金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比39.8%増の576億98百万円となりました。

純資産は、「利益剰余金」が増加したこと等により、前連結会計年度末比4.4%増の447億87百万円となりました。なお、自己資本比率は、43.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より71億86百万円増加し、171億91百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、55億50百万円の収入となりました。主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益が59億56百万円、売上債権の増加による資金流出が106億80百万円、仕入債務の増加による資金獲得が125億83百万円、法人税等の支払による資金流出が18億24百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、13億14百万円の支出となりました。主な要因としましては、販売権の取得による資金流出が10億円、無形固定資産の取得による資金流出が2億73百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、33億14百万円の収入となりました。主な要因としましては、短期借入金の増加による資金獲得が50億51百万円、配当金の支払による資金流出が17億36百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成27年10月26日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ67百万円減少しております。

(4) 追加情報

従来、決算日が12月31日であった連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行ってまいりましたが、連結財務情報のより適正な開示を図るため、第1四半期連結会計期間より、連結子会社9社(依摩泰(上海)国際貿易有限公司 他8社)については、連結決算日に本決算に準じた仮決算を行った財務諸表を基礎とする方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は平成27年1月1日から12月31日までの12ヶ月間を連結し、連結損益計算書を通して調整しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が11,650百万円、売上総利益が829百万円、営業利益が333百万円、経常利益が347百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が258百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|--------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,004 | 17,270 |
| 受取手形及び売掛金 | 57,575 | 67,129 |
| たな卸資産 | 9,732 | 9,095 |
| 繰延税金資産 | 529 | 510 |
| その他 | 1,754 | 2,651 |
| 貸倒引当金 | △426 | △116 |
| 流動資産合計 | 79,170 | 96,540 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 2,251 | 2,227 |
| 減価償却累計額 | △1,462 | △1,467 |
| 建物及び構築物 (純額) | 788 | 760 |
| 土地 | 1,243 | 1,243 |
| その他 | 1,807 | 1,761 |
| 減価償却累計額 | △1,211 | △1,256 |
| その他 (純額) | 595 | 504 |
| 有形固定資産合計 | 2,627 | 2,508 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 207 | 418 |
| 販売権 | — | 983 |
| その他 | 28 | 11 |
| 無形固定資産合計 | 236 | 1,413 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 626 | 627 |
| 繰延税金資産 | 40 | 20 |
| 投資不動産 | 382 | 374 |
| 退職給付に係る資産 | 333 | 293 |
| その他 | 867 | 866 |
| 貸倒引当金 | △93 | △159 |
| 投資その他の資産合計 | 2,156 | 2,023 |
| 固定資産合計 | 5,021 | 5,945 |
| 資産合計 | 84,191 | 102,486 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 36,199 | 47,729 |
| 短期借入金 | 1,598 | 6,576 |
| 未払法人税等 | 837 | 633 |
| 賞与引当金 | 336 | 663 |
| 役員賞与引当金 | — | 49 |
| 関連会社整理損失引当金 | 30 | 30 |
| その他 | 1,929 | 1,789 |
| 流動負債合計 | 40,931 | 57,472 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 88 | 54 |
| その他 | 260 | 171 |
| 固定負債合計 | 349 | 226 |
| 負債合計 | 41,280 | 57,698 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,142 | 2,142 |
| 資本剰余金 | 3,335 | 3,335 |
| 利益剰余金 | 34,888 | 37,490 |
| 自己株式 | △694 | △694 |
| 株主資本合計 | 39,672 | 42,273 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 184 | 202 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | 2,929 | 2,189 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 126 | 121 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,238 | 2,513 |
| 純資産合計 | 42,910 | 44,787 |
| 負債純資産合計 | 84,191 | 102,486 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 135,023 | 176,178 |
| 売上原価 | 121,192 | 161,232 |
| 売上総利益 | 13,831 | 14,945 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 給料及び手当 | 2,807 | 3,359 |
| 役員報酬 | 130 | 123 |
| 運賃及び荷造費 | 1,373 | 1,296 |
| 法定福利費 | 444 | 541 |
| 旅費及び交通費 | 530 | 643 |
| 減価償却費 | 159 | 168 |
| 賞与引当金繰入額 | 524 | 547 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 49 | 49 |
| 退職給付費用 | 140 | 133 |
| 貸倒引当金繰入額 | 35 | 16 |
| その他 | 1,906 | 2,307 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 8,103 | 9,186 |
| 営業利益 | 5,727 | 5,759 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11 | 26 |
| 貸貸収入 | 76 | 57 |
| 為替差益 | — | 81 |
| 投資事業組合運用益 | 10 | 17 |
| その他 | 27 | 95 |
| 営業外収益合計 | 126 | 277 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5 | 36 |
| 貸貸費用 | 16 | 14 |
| 為替差損 | 152 | — |
| その他 | 25 | 28 |
| 営業外費用合計 | 199 | 79 |
| 経常利益 | 5,654 | 5,956 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 17 | — |
| 負ののれん発生益 | 344 | — |
| 特別利益合計 | 361 | — |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券売却損 | 2 | — |
| 減損損失 | 345 | — |
| 特別損失合計 | 348 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,668 | 5,956 |
| 法人税等 | 1,431 | 1,615 |
| 四半期純利益 | 4,236 | 4,341 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △20 | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 4,257 | 4,341 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 4,236 | 4,341 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 32 | 17 |
| 繰延ヘッジ損益 | △0 | 1 |
| 為替換算調整勘定 | 1,446 | △734 |
| 退職給付に係る調整額 | △3 | △4 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 9 | △4 |
| その他の包括利益合計 | 1,485 | △725 |
| 四半期包括利益 | 5,721 | 3,616 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,753 | 3,616 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △31 | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,668 | 5,956 |
| 減価償却費 | 215 | 240 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 30 | △240 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △13,535 | △10,680 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △377 | 432 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 10,504 | 12,583 |
| その他 | 50 | △913 |
| 小計 | 2,556 | 7,378 |
| 利息及び配当金の受取額 | 17 | 33 |
| 利息の支払額 | △5 | △36 |
| 法人税等の支払額 | △1,657 | △1,824 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 910 | 5,550 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △173 | △107 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △22 | △273 |
| 販売権の取得による支出 | — | △1,000 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 72 | — |
| 投資不動産の賃貸による収入 | 65 | 47 |
| 貸付金の回収による収入 | 100 | — |
| 子会社出資金の取得による支出 | △260 | — |
| その他 | △146 | 18 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △363 | △1,314 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 3,040 | 5,051 |
| 配当金の支払額 | △1,226 | △1,736 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,813 | 3,314 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 1,143 | △364 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 3,503 | 7,186 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 14,809 | 10,004 |
| 合併に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 31 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 18,344 | 17,191 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|---------------------------|---------|--------|------------|-------|---------|-------------|-----------------------|
| | 日本 | 中国 | その他 アジア | 欧米 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 66,083 | 43,315 | 22,122 | 3,501 | 135,023 | — | 135,023 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 33,150 | 7,458 | 2,955 | 214 | 43,778 | (43,778) | — |
| 計 | 99,233 | 50,774 | 25,077 | 3,716 | 178,801 | (43,778) | 135,023 |
| セグメント利益 | 2,289 | 2,074 | 498 | 148 | 5,010 | 716 | 5,727 |

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア
- (3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|---------------------------|---------|--------|------------|-------|---------|-------------|-----------------------|
| | 日本 | 中国 | その他 アジア | 欧米 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 67,955 | 82,315 | 21,456 | 4,451 | 176,178 | — | 176,178 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 39,086 | 11,363 | 6,398 | 1,098 | 57,946 | (57,946) | — |
| 計 | 107,041 | 93,678 | 27,855 | 5,550 | 234,125 | (57,946) | 176,178 |
| セグメント利益 | 1,895 | 3,082 | 545 | 188 | 5,712 | 47 | 5,759 |

(注) 1. セグメント利益(営業利益)の調整額は、セグメント間の消去額を記載しております。

2. 日本以外の各セグメントに属する国または地域は、次のとおりであります。

- (1) 中国……………中国(香港を含む)
- (2) その他アジア…台湾、韓国、インド、東南アジア
- (3) 欧米……………米国、メキシコ、チェコ

4. 補足情報

海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

| | 中国 | その他アジア | その他 | 合計 |
|--------------------------|--------|--------|-------|---------|
| I 海外売上高(百万円) | 48,712 | 32,011 | 4,198 | 84,921 |
| II 連結売上高(百万円) | — | — | — | 135,023 |
| III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%) | 36.1 | 23.7 | 3.1 | 62.9 |

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国(香港を含む)

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

| | 中国 | その他アジア | その他 | 合計 |
|--------------------------|--------|--------|-------|---------|
| I 海外売上高(百万円) | 84,542 | 36,383 | 5,230 | 126,156 |
| II 連結売上高(百万円) | — | — | — | 176,178 |
| III 海外売上高の連結売上高に占める割合(%) | 48.0 | 20.7 | 3.0 | 71.6 |

(注) 国または地域の区分の方法及び各区分に属する主な国または地域は、次のとおりであります。

① 国または地域の区分の方法……………地理的近接度による。

② 各区分に属する主な国または地域……………中国(香港を含む)

その他アジア：台湾、韓国、インド、東南アジア